

◆ 八王子都税事務所長賞 ◆

「国民のために」

多摩市立東愛宕中学校 3年 下地 悠歩

税金は、国民の安全を守るためにとても重要なものだと思う。

僕たちが日々生活している中で、「サイレン」の音を聞くことがある。このサイレンは、パトカーや救急車、消防車などが緊急走行している時に鳴らす。このサイレン音を聞いたときに僕は、今日もたくさんの人達が国のために働いてくれているのだと実感する。もちろん、このような警察、消防などの公的サービスにも税金が使われていることを忘れてはいけない。

僕が警察などの活動に興味を持ったきっかけは、テレビ番組の特集だ。この番組では、警察、消防、救急などの国の安全を守るために日々働いている人達に密着した様子を放映している。特に僕が印象に残ったのは、警察官が職務質問をしている場面だ。職務質問とは、犯罪の予防を目的として、警察官が氏名や住所などを質問することをいう。この場面で、職務質問を受けた人は、警察官に対して「税金泥棒」という言葉を何度か口にしていた。僕は、国のために働いてくれている人にそんなことを言うのはあまりにも酷すぎないかと思い、少し悲しい気持ちになった。確かに警察官の給料は、国民から集めた税金から支払われている。しかし、警察官も日本国民としてしっかりと税金を納めているのだ。そして何より、このような警察の活動によって、国民の安全は守られているということを忘れてはいけない。

僕は警察での具体的な税金の使われ方が気になり、少し調べてみた。まず警察の活動のために必要なのは、警察署や交番などの施設だ。これらを建てるのにも、税金が使われている。他にも、パトロールのためのパトカーや警察官の制服、無線機などの装備品、警察官の給料など、数えきれないほどの用途に税金は使われていることがわかった。東京都では、警察や消防の活動に使われる税金は、全体の十パーセント程度で、福祉、教育などに次いで多い。それだけ、安全・安心に暮らすために税金は重要なのだとわかる。中学生に身近な税金は消費税だが、僕は税金の重要性を知って、これからお金を払うときには気持ちよく税金を納めることができると思う。

ここまでを通して僕は、税金は国民が安全に生活するために使われている、とても重要なのだと改めて感じた。また警察や消防、救急など、国のために日々働いている人達に感謝したいと思った。中学生の僕にできることはまだ少ないが、大人になった時には、国民のために税金が使われていることを理解した上で、国民の安全を守るために働ける人になりたいと思った。